

科学研究費助成事業 研究成果報告書

令和 4 年 6 月 22 日現在

機関番号：13701

研究種目：若手研究

研究期間：2019～2021

課題番号：19K14283

研究課題名（和文）特別支援学校（聴覚障害）における外国語活動に関する基礎的検討

研究課題名（英文）Foreign language activities in special needs school for children with hearing impairment

研究代表者

鈴木 祥隆（Suzuki, Yoshitaka）

岐阜大学・教育学部・助教

研究者番号：00794033

交付決定額（研究期間全体）：（直接経費） 1,800,000円

研究成果の概要（和文）：近年の急速なグローバル化により、外国語（特に英語）の重要性は高まってきている。小学校においても、2020年には外国語活動が必修化された。しかし、特別支援学校（聴覚障害）では「聞くこと」に困難を抱える児が在籍しており、外国語活動の活動設定や指導の在り方については、小学校よりもその検討が明らかに遅延している。

本研究では、韓国において聴覚障害児用に作成された小学校英語の教科書を分析した。その結果、聴覚障害児用の英語の教科書の構成、教科書の各レッスンに出てくる活動項目、教科書全体の各技能の項目数、韓国の英語の教科書の特徴について明らかにした。

研究成果の学術的意義や社会的意義

外国語の学習活動において、韓国では聴覚障害児用の教科書が作成していることを報告し、教科書の分析を行うことで、教科書の特徴について明らかにした。このことは今後わが国においても、聴覚障害児用の教科書作成の際に参考になる視点である。

研究成果の概要（英文）：Due to the rapid globalization in recent years, the importance of foreign languages (especially English) is increasing. Foreign language activities became compulsory in 2020 at elementary schools. However, foreign language activities are not sufficiently considered at special needs schools for hearing impairment. In this study, we analyzed elementary school English textbooks prepared for children with hard of hearing in Korea. As a result, we clarified the composition of English textbooks, activity items that appear in each lesson of textbooks, the number of items of each skill in the entire textbook, and the characteristics of Korean English textbooks.

研究分野：特別支援教育

キーワード：聴覚障害 外国語活動

様式 C - 19、F - 19 - 1、Z - 19 (共通)

1. 研究開始当初の背景

2020年には外国語活動が必修化され、学習指導要領では特に「聞くこと」「話すこと」に重点が行われている。しかし、特別支援学校(聴覚障害)では「聞くこと」に困難を抱える児が在籍しており、外国語活動の活動設定や指導の在り方については、小学校よりもその検討が明らかに遅延している。本研究においては、そのような状況を踏まえ、先駆的に英語教育を行っており、かつ言語環境や文字環境が日本と同様である韓国の現状の調査を行い、韓国の知見を日本の外国語活動における指導に取り入れることが期待されている。

2. 研究の目的

本研究の目的は、特別支援学校(聴覚障害)における外国語活動の在り方について明らかにすることを目的とした。

しかし、当初、計画をしていた韓国での調査は、新型コロナウイルスの影響を受けたため渡航ができず、研究計画を大幅に変更することを余儀なくされた。研究計画変更後の研究の目的として位置づけることができたのは、以下である。

韓国では、聴覚障害児用の教科書が作成されていることがわかり、聴覚障害児用の教科書の分析を行うこととした。分析をすることで、その特徴について明らかにすることを目的とした。

しかし、ここでも新型コロナウイルスの影響を受けた。韓国から聴覚障害児用の教科書の取り寄せを行ったが、飛行機の欠航により、船便での取り寄せになった。取り寄せには2か月を要した。

3. 研究の方法

分析の対象：韓国で聴覚障害児用に作成された英語(3年生用)の教科書(韓国の名称では、特殊初等学校英語補助教科書(聴覚障害学生)3年生用)1冊とした。この教科書は、現在、韓国の学校教育現場で使用されている英語の教科書である。これは韓国の教育部(文部科学省)が2016年に作成したものである。現在、作成されている聴覚障害児用の英語3年生用の教科書は分析の対象とした1種類である。

分析の観点

(1) 聴覚障害児用の英語の教科書の構成

(2) 教科書の各レッスンに出てくる活動項目

各レッスンに取り上げられている活動項目が4技能(聞くこと、話すこと、読むこと、書くこと)のどの技能に該当しているかを分類した。4技能に該当しない技能と判断された2項目については、新たに項目を加えた(手話、文字)。例として、項目"Read and Write"は、内容を踏まえ、読むことと書くことを取り扱っているとした。StoryにはLessonに対応した項目が示されていないため、分析の対象から除外した。

(3) 教科書全体の各技能の項目数の算出

分析2の後、各レッスンの項目を抽出し、教科書全体でどの技能が何項目取り上げられているかを算出した。

(4)

韓国の英語の教科書の特徴

(1)~(3)の分析を踏まえ、韓国の教科書の特徴について考察を行った。

4. 研究成果

(1) 聴覚障害児用の英語の教科書の構成

教科書は教科書本体(Fig.1)、カードやシール、ワークブック(Fig.2)から構成されていた。教科書のページ数は115ページ、57ページ、95ページであった。

教科書の内容は、LessonとStoryで構成されていた。Lesson数が10個、Story数が5個であった。2Lessonごとに1つのStoryが配置されていた。Lessonでは、"I'm ○○"や"It's a book"などの英語の学習を行う。一方、Storyは、2つのLessonで学習した語彙や文章を活用して漫画形式で復習ができる章になっている。

教科書の作成に当たり、単元学習の目標語彙と文章は、聴覚障害児の言語特性と能力を考慮して選定されたとの記述が見られた。

(2) 教科書の各レッスンに出てくる活動項目

項目は Look and Guess、Let's Sign、Listen and Repeat、Look and Listen、Listen and Do、Look and Say、Let's Talk、Talk and Play、Read ABC、Look and Sign、Let's Chant、Read and Do、Review、Look and Read、Read and Write、ABC Play、であった。各レッスンは 12～15 項目で構成されていた。

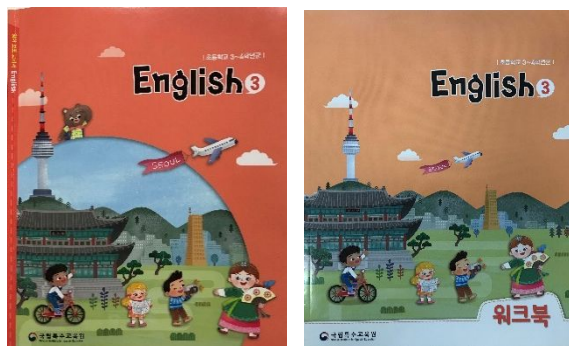


Fig.1 教科書(左)とワークブック(右)

(3) 教科書全体の各技能の項目数

聞くこと 60 項目、話すこと 40 項目、読むこと 33 項目、書くこと 10 項目、文字 17 項目、手話 17 項目であった。

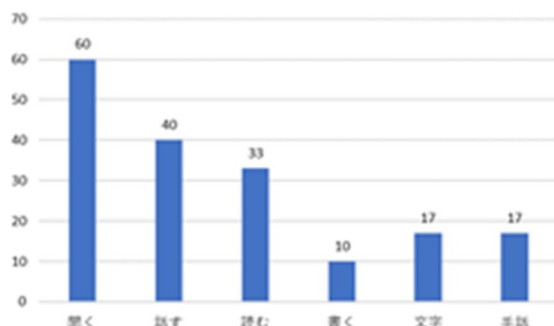


Fig.3 教科書で取り上げられていた各項目数の内訳

(4) 韓国の英語の教科書の特徴

ここでは、分析の対象とした韓国の聴覚障害児用の英語(3年生)の教科書の特徴的な項目について報告を行う。

・QRコードについて

Let's Sign、Listen and Repeat、Read ABC、Look and Singの4項目にはQRコードが付いており、QRコードを読み取ることで、動画教材にアクセスできるようになっていた。

・手話について

各レッスンのLet's SignとLook and Signの項目では、ASL(American Sign Language)の表現が取り上げられていた。

まとめ

2020年度時点で、日本では聴覚障害児用に作成をされた外国語活動の教科書はない。一方、韓国では2016年には聴覚障害児用の教科書が作成されていた。今回の分析の対象とした教科書は初版である。聴覚障害児の外国語の指導については、母国語の指導よりも丁寧な指導が必要となる。こうした背景を踏まえると、韓国では聴覚障害児の英語の指導に対してASLやアルファベットの指文字が取り入れられており、英語の手話や指文字から英語を学ぶことができるよう構成されていた。またQRコードで動画教材にアクセスができるようになっており、音声だけでなく映像も合わせた教材が用意されていた。一度での聞き取りが難しい聴覚障害児の特徴を踏まえ、見返すことができるようになっていた。

文献

特殊初等学校英語補助教科書(聴覚障害学生)3年生用

5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計0件

〔学会発表〕 計1件（うち招待講演 0件 / うち国際学会 0件）

1. 発表者名 鈴木祥隆・瀧沢広人・金恩河
2. 発表標題 特別支援学校（聴覚障害）小学部における英語教育（外国語活動）の現状 韓国の聴覚障害児用に作成された3年生用の英語の教科書分析を通して
3. 学会等名 2020年度障害科学学会
4. 発表年 2021年

〔図書〕 計0件

〔産業財産権〕

〔その他〕

-

6. 研究組織

氏名 （ローマ字氏名） （研究者番号）	所属研究機関・部局・職 （機関番号）	備考
---------------------------	-----------------------	----

7. 科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計0件

8. 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

共同研究相手国	相手方研究機関
---------	---------